

## 市長あいさつ

「観光」という言葉は、中国の古典の一説、「観国之光」（国の光をよく観察する）が語源とされ、「国の文化・政治・風俗をよく観察すること」、「国の風光・文物を外部の人々に示すこと」の意味を有していると言われています。



「観光」は、人々の生活に安らぎや生きがいといった豊かさをもたらすだけでなく、交流人口の拡大を通じた地域経済への波及効果、さらには、地域資源や歴史・文化などの情報発信によるまちのイメージと知名度の向上など、多様な可能性を秘めています。

本市は、全国トップクラスの日照時間を有する温暖な気候に恵まれ、自然敬愛の精神のもと先人から守り伝えられてきた虹ヶ浜・室積の両海岸をはじめとする山・川・海などの美しい自然、一年を通じて四季折々の花が咲き誇る冠山総合公園、初代内閣総理大臣伊藤博文公や第二奇兵隊にゆかりのある歴史・文化など、数々の観光資源を有しています。

しかし一方で、本市の観光地としての全国的な知名度は低く、土産物や飲食店の充実をはじめとする観光資源の魅力発掘や磨き上げが長年の課題となっていました。

こうした中、本市では、平成29年3月に「第2次光市総合計画」を策定し、20年後を展望した将来像「ゆたかな社会～やさしさひろがる 幸せ実感都市 ひかり～」を掲げるとともに、政策の一つとして「観光の振興と交流促進」を定めました。そして、このたび、この計画を具現化するための行動計画として、「光市観光アクションプラン」を策定しました。

今後、市民や関係機関の皆様と協働しながら、本プランに掲げた施策一つひとつを着実に推進し、まちの新たな魅力発掘や賑わいづくり、さらには、交流人口の拡大を目指してまいります。

終わりに、本プラン策定にあたり、それぞれの立場から貴重な御意見、御提言をいただいた「光市観光アクションプラン策定懇話会」の委員の皆様をはじめ、アンケート調査などにご協力いただいた多くの皆様に対し、心からお礼申し上げます。

平成30年3月

光市長 市川 熙